

舞鶴文化公園体育館



外観

建物は、1986(昭和61)年竣工で築30年以上が経過。トイレに対する、湿気やにおい、さらに和式便器が多く使いにくいという声に応じて、バリアフリー化、明るく清潔なトイレへ改修が実施された。



1Fトイレサイン

競技選手、観客、障がい者競技選手、車いす使用者、お子様連れ、外国人などさまざまな利用者が文字を読まずに視認できるピクトサインと案内板をデザイン。トイレ内だけでなく、入口からユニバーサルな空間とした。

1F女性トイレ
洗面コーナー

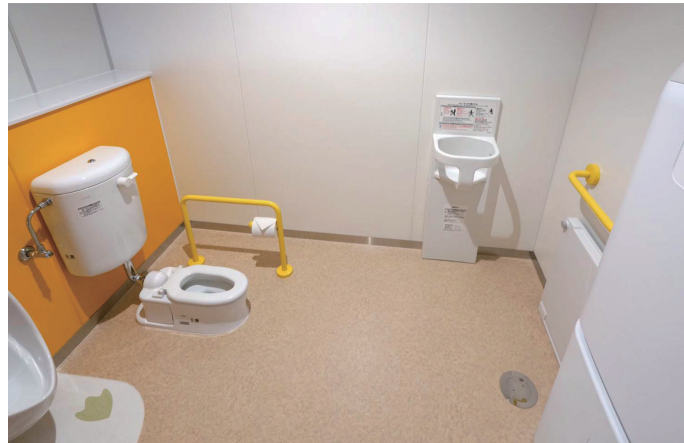
1Fは利用頻度が高いことから、カウンターへの水はねを低減するセルフリング式の洗面器を採用。改修前はタイル貼りで湿気が不快な床だったが、乾式清掃を想定したシート貼りに変更。清掃の負荷を軽減している。

1F女性トイレ
洗面コーナー

テニスやサッカーをするお子様や、お子様連れの利用者も多いことから、快適に使ってもらえるよう、いたるところに配慮をしている。洗面の高さを1ヶ所低くしているのもその一例。

1F女性トイレ
スタイリングコーナー

女性競技選手および利用者に配慮して、洗面コーナーの対面にスタイリングコーナーを整備。洗面の混雑緩和にも繋げている。隣の人と鏡ごしに目があわないように個別鏡を採用している。

1F女性トイレ
乳幼児連れブース

多機能トイレの混雑を防ぐため、男女トイレそれぞれに乳幼児用ブースを配置している。幼児用大便器や小便器、ベビーシートなどお子様連れに配慮した器具が充実。空間は2300mm×1800mm程度を確保している。

1F女性トイレ
一般ブース

ノズルきれい機能を搭載したパブリック向けウォッシュレット一体形便器を採用。エコリモコンのため、節電が図れ、管理面でも手間を省くことができる。施設内すべての大便器を洋式化し、ユニバーサルデザインを実現。

1F女性トイレ
ひろびろブース

トイレ内すべてのブースに手すりやベビーチェアを設置。さらにお子様や高齢者など付き添いの方と一緒に入るケースなどを想定し、男女ともに広めの個室を一部用意。ブース内にはベビーシートを設置。

1F男性トイレ
洗面コーナー

女性と同仕様で、お子様用に高さを一部変更した洗面コーナー。自動水栓で節水化を実現。1ヶ所は手すり付きとし、バリアフリー化を図った。洗面空間は通路が2m程あり、ゆったりと快適に利用できる。

1F男性トイレ
小便器コーナー

床の清掃がしやすい壁掛自動洗浄小便器を採用。床には、菌によるにおいや汚れの発生を抑制、汚れも落としやすいハイドロセラ・フロアを設置し、快適な小便器まわりを実現した。器具間には荷物配慮でフックを採用。

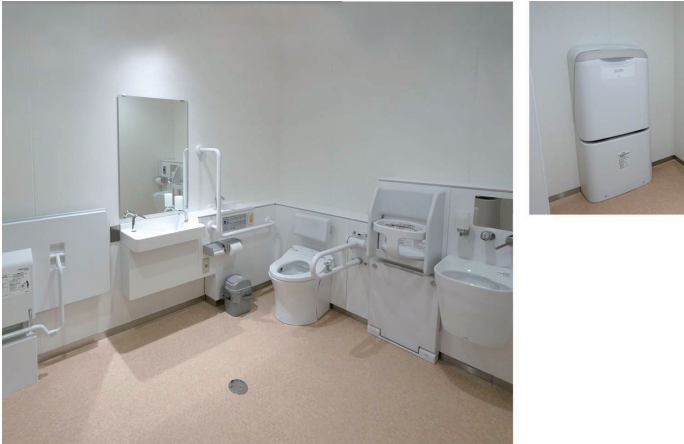
1F男性トイレ
乳幼児連れブース

男性がお子様の世話をすることを想定し、男性トイレ内にも、女性トイレと同仕様の乳幼児連れブースを設置。個室となっているため、ほかの男性の視線を気にせず、安心して利用できる。

1F男性トイレ
大便器ブース

大柄の選手や体格の大きい外国人にも対応できるよう、一般のブースでは幅1000mmを確保。ひろびろブースは幅1300mmとし広い空間を確保。ローシルエットデザインの大便器は、空間をスッキリと仕上げています。

舞鶴文化公園体育館



1F多機能トイレ

さまざまな身体状況の競技選手や利用者に対応できるよう、多機能トイレを設置。コンパクト多機能トイレパックの採用で、省スペース空間でも、フィッティングボードとベビーチェアを併設している。



2F女性トイレ
洗面コーナー

コンパクトな壁掛ハイバック洗面器を採用することで、器具数が充実、さらに、洗面器間要所に全身鏡を併設している。通路幅確保のためライニングのない仕様だが、携帯などの小物がおけるよう鏡脇に棚を設置している。



2F多機能トイレ

2Fにも、さまざまな身体状況の競技選手や利用者に対応できるよう、多機能トイレを配置。2Fには、男女トイレに幼児用小便器が設置されない代わりに、多機能トイレ内に幼児用小便器が設置されている。



2F多機能トイレ

1F同様に、多目的シートとベビーシートを併設。利用者が使いやすい器具を選択できる環境を整えている。空間は2500mm×3600mm程度の広さがあり、電動車いすの方でも使いやすい十分な広さを確保している。



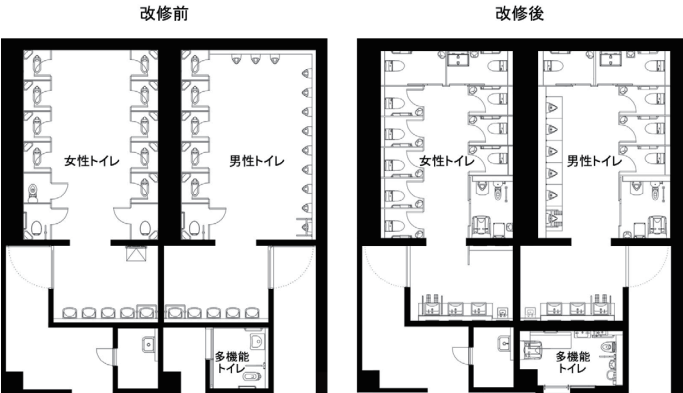
女性更衣室
脱衣スペース

女性競技選手や利用者に配慮して、女性更衣室には洗面コーナーの対面にスタイリングコーナーを整備。洗面の混雑緩和にも配慮している。5人同時使用が可能で、お化粧直しや身支度がしやすい。



女性更衣室
シャワーブース

0812サイズのシャワールームを5台設置。別途、車いす使用者でも対応できる広めのシャワールームも用意している。男女とも同じ仕様で統一している。



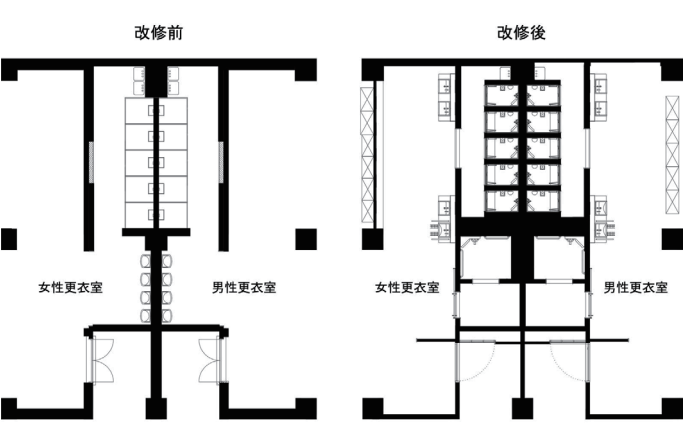
1Fトイレ図面

トイレの壁の位置をほとんど変えずに、もともと広くあった通路を活用し、大便器ブースを広くゆったりした空間に変更。すべてを洋式便器にして、誰もが使いやすい環境を整えている。



2Fトイレ図面

1・2Fともに多機能トイレを設置。多機能トイレは、車いす使用者が使いやすいように空間を広げ、両フロアとも多目的シートを備えるなど、設備も充実させている。



更衣室図面

「だれもが使いやすい」をコンセプトに、改修前にはなかった車いす使用者を考慮した広めのシャワーブースを新設した。

水まわりの特長

改修の経緯

「舞鶴文化公園体育館」は、京都府舞鶴市に位置。冷暖房を完備した競技場（アリーナ）をはじめ、剣道場・柔道場・会議室・トレーニングルームにより構成され、各競技の練習や大規模大会でも利用されている。客席数はアリーナは1,024席、剣道場が250席、柔道場が244席。トイレは、1986（昭和61）年の竣工時のままであり、タイル貼りで湿式清掃による湿気をはじめ照明器具および換気設備の劣化や、段差がありほとんどが和式便器であることなど、さまざまな支障が生じていた。東京五輪に伴いホストタウンとなったことを受け、外国人利用も想定した「だれもが使いやすい」「明るく清潔なトイレ」を目指し改修した。

水まわりの特長

スポーツ振興くじ助成金を活用し、バリアフリー化を主目的とした整備を実施。ほかに全洋式化や乾式化を図り、清潔で快適な空間となるように設計している。衛生器具の選定は、器具の清潔性が容易に長く維持しやすい大便器や、環境配慮のある商品、また管理者にとってメンテナンスしやすいことを重点に決定。スポーツ施設特有の集中利用を考慮して、不足とならないよう器具数を配置、大便器ブースの広さを確保するなど快適性を考慮した。競技者、観客、障がい者競技選手、車いす使用者、お子様連れ、外国人などすべての利用者に対応したユニバーサルな空間となり、「トイレがきれいになったことにより、体育館自体も気持ちよく利用できるようになった」と利用者から高い評価を得ている。

建築概要

名称	舞鶴文化公園体育館
所在地	京都府舞鶴市字上安久420
施主	舞鶴市
設計	舞鶴市
施工	建築 株式会社丸富建設 設備 岡安設備工業有限公司
竣工年月	(改修)2020年1月
敷地面積	59,482㎡
建築面積	5,480.63㎡
延床面積	7,698.93㎡
構造・階数	鉄筋コンクリート造（一部鉄筋鉄骨コンクリート造）・地上2階

おもなTOTO使用機器

パブリック向けウォシュレット一体形便器（擬音装置「音姫」付きエコリモコン）：CES959S
棚付二連紙巻器：YH702
自動洗浄小便器：UFS900R
洗面器：L350CM
壁掛洗面器：LSE721BAPMWR
壁掛ハイバック洗面器：LSA125CC
台付自動水栓：TENA12A
水石けん入れ：TLK05202J
コンパクト多機能トイレパック：UADBY61L1C1ANN2W、UADBY71R1C1ANN2W
ウォシュレットアプリコットP（温風乾燥付エコリモコン）：TCF5840AUPR
収納式多目的シート：EWC520ARR
幼児用大便器：CS310B+S300BK
幼児用小便器：U310GY
ベビーシート：YKA24R、YKA25R
ベビーチェア：YKA15R、YKA16R
フィッティングボード：YKA41
パブリック用手すり：T112CL、T112CP
フック：YKH22
シャワーユニット：JSV0812系